

オンラインによる教育活動の聴く環境への配慮について

日頃より本校の教育にご理解とご協力をくださいませ心から感謝申し上げます。

コロナウイルスの感染拡大により本校の教育活動はオンラインでの関わりを持つことになりました。教師や友達の声を少しでも良い環境で聴くために、オーディオロジー部からいくつかのご提案をさせていただきます。保護者の方々には、これを参考にできる範囲でオンラインでの聴く環境を整えていただきたいと考えます。

お手数をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

■静かな部屋・環境で行う

- ①部屋の窓やドア、カーテンを閉め、外部からの音や反響音を減らす。
- ②テレビやオーディオ等音の出る機器を停止させる。

■音量を適量に合わせる

- ①スピーカーのボリュームを調整する
端末の機械的なボリュームと、アプリ内のボリュームがあればそれも適量になるように調整する。
- ②マイクのボリュームを調整してもらう。
相手の声が聞こえにくい場合、マイクのボリュームを調整してもらうよう伝える。

■より音質を改善したい時（RK・幼稚部の場合）

- ①外付けスピーカーの使用
ノートパソコンやスマートホンは、スピーカーが小型のために十分な音が出ないものがあります。その場合外付けスピーカーがご自宅にあれば、お試し下さい。改善できる場合があります。（まれにブーとノイズが出たり、マイクが使えなくなったり等トラブルがあるかもしれません。その場合は使用を中止してください。）

※RK・幼稚部の方は、お子さんと保護者が一緒に音を聞く必要がありますので、小・中学部で推奨している②、③、④の方法はお薦め致しません。

■より音質を改善したい時（小・中学部の場合）

- ①外付けスピーカーの使用
ノートパソコンやスマートホンは、スピーカーが小型のために十分な音が出ないものがあります。その場合外付けスピーカーがご自宅にあれば、お試し下さい。改善できる場合があります。（まれにブーとノイズが出たり、マイクが使えなくなったり等トラブルがあるかもしれません。その場合は使用を中止してください。）
- ②外部入力ケーブルの使用
小・中学生は、校外学習で使用する FM 補聴システムの外部入力ケーブルをイヤホンジャックに接続し、使用できる可能性があります（人工内耳装用者は赤外線用ケーブルと同じ）。補聴器は、使用時に学校で赤外線を使用する時と同様にプログラムの切り替えを行って下さい。ご不明な点があれば、オーディオロジー部へお問い合わせください。
- ③Roger やコムパイロットの使用

お持ちの方はお試しください。（使用方法に関しましては、メーカーサイトご参照ください）。ご不明な点があればオーディオロジー部へご連絡ください。

④有線のヘッドホン:ヘッドホンを人工内耳・補聴器の上からかぶせて使用

お持ちの方はお試しください。ただし、自分の声が聴き取りにくい、話しづらい、ハウリングして聴き取りが悪くなる等の問題が出た場合はご使用をお控えください。

※注意点：bluetooth 接続のスピーカーやヘッドホン、ワイヤレス補聴援助機器（ミニマイクロフォン等）が通信干渉の原因となり、音質の乱れに繋がることがあります。その場合は使用を控えてください。

※ご使用する環境、使用機器等をご家庭によって様々です。無理をせず、今より聴こえの改善ができることを行ってください。